



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和5年12月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和5年12月25日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 令和5年度ふるさと渋川学生奨励金授与式を開催します(資料1)
- 2 「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進のために
コミュニティ・スクール連絡協議会を開催します(資料2)
- 3 「公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン」の
令和5年度第2弾を1月9日(火)から実施します(資料3)
- 4 こんにやく芋生産農家存続のための要望書を県知事に提出します(資料4)
- 5 大雪に備えた関係部署の情報交換及び庁議での協議を実施しました(資料5)
- 6 渋川市公式ホームページのリニューアルに向けたアンケートの実施結果を
お知らせします(資料6)

その他資料提供

- ・令和5年度第2回渋川市総合教育会議を開催します(資料7)
- ・令和6年渋川市消防出初式を開催します(資料8)
- ・渋川市交通指導員年頭式を開催します(資料9)

○次回開催予定

日時：令和6年1月9日(火) 午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
12月25日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	令和5年度ふるさと渋川学生奨励金授与式	市役所本庁舎	教育総務課
	終了後	市長定例記者会見	市役所本庁舎	政策戦略課
	14:30	令和5年度第4回渋川市太陽光発電設備設置審議会	市役所本庁舎	環境森林課
	18:00	渋川地区自治会連合会忘年会	プレヴェール渋川	市民協働推進課
12月26日(火)	13:30	第35回政策戦略会議	市役所本庁舎	政策戦略課
	16:00	広域組合管理者査定	広域組合	広域組合
	19:50	渋川市消防団歳末特別警戒激励巡視	市役所本庁舎、消防本部消防署ほか	危機管理室
12月27日(水)	8:00	群馬県知事との朝食会	群馬会館	秘書室
12月28日(木)	14:00	市長年末あいさつ	市役所本庁舎	人事課
	14:10	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
12月29日(金)				
12月30日(土)				
12月31日(日)				
1月1日(月)	7:00	豊秋地区元旦マラソン大会	豊秋公民館	豊秋公民館
	7:15	古巻地区元旦マラソン大会	古巻公民館	古巻公民館
	9:30	小野上温泉マラソン大会	小野上温泉公園周辺	小野上公民館

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
1月1日(月)	7:00 7:15 9:30	豊秋地区元旦マラソン大会 古巻地区元旦マラソン大会 小野上温泉マラソン大会	豊秋公民館 古巻公民館 小野上温泉公園周辺	豊秋公民館 古巻公民館 小野上公民館
1月2日(火)	9:30	子持産業振興(株)新年祝賀式及び達磨目入れ式	道の駅こもち	農政課
1月3日(水)				
1月4日(木)	9:00 9:10 11:00 18:00	市長年頭あいさつ 庁議 市議会と当局との年賀交換会 総務市民常任委員会懇親会	市役所本庁舎 市役所本庁舎 市役所本庁舎 小政鮎	人事課 政策戦略課 議会事務局 議会事務局
1月5日(金)	11:00 12:30 18:00	令和6年群馬県議会新春交流会 上毛新聞社新年交歓会 渋川市農業委員会新年会	県庁県民ホール 日本トーターグリーンドーム前橋 プレヴェール渋川	秘書室 秘書室 農業委員会事務局
1月6日(土)				
1月7日(日)	13:00	令和6年渋川市はたちを祝う会	市民会館	生涯学習課
1月8日(月)	9:00 11:00	渋川市消防出初式 渋川市交通指導員年頭式	市役所本庁舎駐車場 渋川ほっとプラザ	危機管理室 危機管理室
1月9日(火)	9:00 13:00 17:00	庁議 市長定例記者会見 渋川職業訓練協会令和6年新年会	市役所本庁舎 市役所本庁舎 角藤	政策戦略課 政策戦略課 広域組合

資料1

令和5年度ふるさと渋川学生奨励金授与式を開催します

ふるさと渋川学生奨励金は、将来、渋川市に貢献しようとする志のある人材の夢の実現を奨励し、支援するため、渋川ライオンズクラブからの寄附を原資として、1人10万円を給付するものです。

令和5年度のふるさと渋川学生奨励金の給付対象者が決定しましたので、12月25日(月)に授与式を開催します。

1 概 要

「ふるさと渋川学生奨学金」は、将来、渋川市に貢献しようとする志のある人材に、渋川ライオンズクラブからの寄附を原資とする奨励金を給付することにより、給付対象者の夢の実現を奨励し、支援するものです。金額は、1人10万円（給付は1回のみ）を限度とし、返済の必要はありません。

この奨励金は、応募者が「将来渋川市のためにどのように貢献したいか」を記載した提案書を提出し、選考委員会による審査を経て、給付対象者を決定します。

令和5年度は4名の応募者があり、9月に一次選考、11月にプレゼンテーションによる二次選考を実施し、給付対象者3名が決定しました。

2 日 時 令和5年12月25日(月) 午後1時～

3 会 場 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

4 内 容

- (1) 開会（教育部長 斉藤 章吉）
- (2) あいさつ（渋川市教育委員会教育長 中沢 守）
- (3) 証書及び目録の授与（渋川市長 高木 勉）
(渋川市教育委員会教育長 中沢 守)
- (4) お祝いの言葉（渋川市長 高木 勉）
(渋川ライオンズクラブ会長 島田 眞弥 氏)
- (5) 給付対象者からひとこと（樋田果保さん、後藤弘道さん、一場咲穂さん）
- (6) 閉会（教育部長 斉藤 章吉）
- (7) 質疑応答
- (8) 記念撮影

5 出席者

- ・渋川ライオンズクラブ 会長 島田 眞弥 氏
- ・渋川市長、副市長、教育長
- ・給付対象者（3人）

6 令和5年度給付対象者（受付順）

（1）樋田 果保さん(21歳)（大学生）

- ・ 提案書のテーマ 「渋川市の子どもたちがより充実した人生を歩むために私にできること」

- ・ 提案概要

大学での教職課程の学習だけでなく、学習支援、学童、フリースクールなどのボランティアの経験を通じて、より教員になりたいという思いが強くなった。渋川市の子どもたちに学ぶ楽しさを伝え、子どもの「やってみたい」を引き出す教員になりたい。

- ・ 評価されたポイント

目標がはっきりしており、多様性を受け入れる柔軟性、良いと思うことを実行する行動力を強く感じた。教員になることがゴールではなく、どのような教員になりたいかがよく伝わった。

（2）給付対象者氏名 一場 咲穂さん(20歳)（大学生）

- ・ 提案書のテーマ 「私が将来渋川市に貢献したいこと」

- ・ 提案概要

大学ではマーケティングや地域プロモーションの勉強に力を入れている。この学びを活かし、大学進学を機に渋川市の外で暮らして気づいた渋川市の魅力を発信することで渋川市に貢献したい。

- ・ 評価されたポイント

豊かな自然の中で、豊かな体験をし、何事にも主体的に取り組める姿勢を身につけている。学生生活を有意義に過ごしていることが伝わった。持ち前の行動力で渋川市の魅力を発信することを期待する。

（3）給付対象者氏名 後藤 弘道さん(17歳)（高校生）

- ・ 提案書のテーマ 「私が将来渋川市に貢献したいこと」

- ・ 提案概要

高校の数学教員になることを夢に、大学入試に向けて学習に励むうち、市内の学習室に入試相談窓口などを加えた「入試対策センター」を作る夢を抱いた。将来は教員になり、施設の実現に向けて渋川市への働きかけを行いたい。

- ・ 評価されたポイント

この提案は、勉強に頑張っているからこそ考えられたもので、高校生の視点から問題意識を持ち、渋川の学生のために役に立つ仕組みを作りたいという意欲の感じられる提案だった。

7 令和5年度の選考スケジュール

- （1）募集期間 令和5年4月14日～9月1日
- （2）一次選考 令和5年9月28日（提案書（1,300字以内）の選考：4名）
- （3）二次選考 令和5年11月11日（プレゼンテーション：3名）
- （4）給付対象者の決定と結果通知 令和5年11月22日付け

参考

ふるさと渋川学生奨励金過去の給付実績

令和2年度	君島 誠一さん (大学生)	提案書のテーマ「ロシア人観光客誘致に関する提案書」 ロシア人観光客を呼び込めるよう、自身が学ぶロシア語を生かして、伊香保温泉や創作こけしを資源とした渋川市の魅力などの情報を発信し貢献したい。
令和3年度	塩浦 ^{ももか} 桃蘭さん (専門学校生)	提案書のテーマ「私が渋川市に将来貢献したいこと」 保育の領域と介護の領域の両方の社会福祉の学びをいかして、子ども一人一人の個性や気持ちを大切にできる、介護の知識を持った保育者として、渋川市に貢献したい。
	グルンアニタさん (専門学校生)	提案書のテーマ「第二の故郷渋川市に貢献したいこと」 介護福祉士として、入居者と家族にも幸せを感じてもらえる丁寧な介護をし、自分の仕事に誇りを持ち、社会に貢献できるようになること、渋川市と母国ネパールの架け橋になることで貢献したい。
令和4年度	小池 雪さん (専門学校生)	提案書のテーマ「子どもが穏やかな雰囲気の中で育ち、保護者が安心して子育てできる渋川市」 保育の実習指導を受けた先生の評価や子どもたちとのやりとりを通じて、自分の良さを発見できた。子どもたちが伸び伸び成長でき、保護者が安心して子どもを預けられ何でも相談できる保育士を目指し、渋川市で活躍できるように成長していきたい。
	山田 ゆめりさん (専門学校生)	提案書のテーマ「私が将来渋川市に貢献したいこと」 介護施設の利用者の尊厳を保持し、利用者本人の思いに寄り添うケアを心がけ、その人らしさを引き出す支援ができる介護福祉士になりたい。また、市民として地域の行事と活動に積極的に参加し、行事の楽しさを発信して盛り上げていきたい。
	樋口 諒祐さん (高校生)	提案書のテーマ「僕が将来渋川市に貢献したいこと」 幼い頃に親しんだ白井城の再建という夢を膨らませたことをきっかけに、地元の魅力を知ってもらいたい、地域の人々が元気に働ける場所をつくりたいと考えるようになった。大学に進学して見聞を広め、地域の良さを日本全国だけでなく世界へ発信していきたい。

■問い合わせ先

教育部 部長 斉藤 章吉 (内線4930)

担当：教育総務課 (電話0279-22-2076)

課長 西島 薫 (内線4940)

管理係長 飯沼 紀子 (内線4946)

資料2

「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」の 一体的な推進のためにコミュニティ・スクール連絡協議会 を開催します

「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進に向けて、1月24日(水)にコミュニティ・スクール連絡協議会を開催します。

地域と学校の連携・協働の考え方や具体的な活動について、事例発表をもとに共通理解を図ります。

1 概 要

渋川市は、「地域とともにある学校」への転換を図るため、令和4年度から市内小中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールへの取り組みを開始しています。令和5年度現在、市内小中学校23校中21校において、コミュニティ・スクールへの移行が進んでいます。また、本年度より地域学校協働活動推進員を委嘱し、地域と学校をつなぐ役割を担っていただいています。

学校と地域住民が子どもたちのために力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と、地域と学校が相互にパートナーとして子どもたちの学びや成長を支えるために連携・協働して行う「地域学校協働活動」の一体的な推進により、「学校を核とした地域づくり」が実現し、地域の活性化にもつながっていきます。

今回、地域と学校の連携・協働の具体的な活動事例について、地域と学校双方からの視点を踏まえた発表を行うことで、渋川市のコミュニティ・スクールの目指す方向性について共通理解を図るため、コミュニティ・スクール連絡協議会を開催します。

この事業は、渋川市では、今回が初めての開催となります。

2 日 時 令和6年1月24日(水) 午後2時～4時30分

3 場 所 金島ふれあいセンター ホール (渋川市金井1999)

4 内 容

(1) 実践発表

- ①金島小・中学校学校運営協議会
- ②伊香保小・中学校学校運営協議会

(2) パネルディスカッション

「渋川市のめざすコミュニティ・スクール」

渋川市としての特色あるコミュニティ・スクールについて、パネラー(計8人)だけでなく、会場全体で考えていきます。

【登壇者】金島小学校長、金島中学校長、金島小・中学校学校運営協議会会長、伊香保小学校長、伊香保中学校長、伊香保小・中学校学校運営協議会会長、中部教育事務所社会教育主事、渋川市教育委員会教育長

5 参 加 者 各学校運営委員会委員、各小中学校長、各公民館長
地域学校協働活動推進員、公民館運営審議委員、社会教育委員等

6 一般参加の受付

当日は、市民の参加を受け付けます（先着100人）。希望する人は、令和6年1月22日（月）までに、右の二次元コードを読み取り応募フォームで申込むか、学校教育課に電話（0279-22-2121）で申し込んでください。



7 周知方法

「広報しぶかわ」1月15日号及び市ホームページに掲載します。

8 今後の見通し

令和6年度には、市内全小中学校がコミュニティ・スクールに移行します。

参考

1 コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置した学校のこと。学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）第47条の5において、「教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その所管に属する学校ごとに、当該学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、学校運営協議会を置くように努めなければならない。」と示されています。

2 地域学校協働活動とは

幅広い地域住民の参画を得て地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動のこと。（文部科学省）

3 渋川市のコミュニティ・スクールへの移行の状況

- ・令和4年度：市内8小中学校で6学校運営協議会を設置
 - ・令和5年度：市内13小中学校で10学校運営協議会を設置
 - ・令和6年度：市内2小中学校で学校運営協議会を設置の予定
- ※小中学校で、ひとつの学校運営協議会を設置している地区もある

■問い合わせ先

教育部 部長 斉藤 章吉（内線4930）

担当：学校教育課（電話0279-22-2121）

課長 飯塚 寿夫（内線4910）

指導係長 栗田 昌光（内線4914）

「公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン」の 令和5年度第2弾を1月9日(火)から実施します

渋川市は、自家用車を使用しない「環境に配慮した旅」を促進するとともに、物価高騰の影響を受ける観光業及び交通事業者を支援するため「公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン」の令和5年度第2弾を実施します。

本事業は、「観光と環境をコンセプトとした事業」であり、県外から鉄道または高速バスを使って渋川市を訪れ、市内の宿泊施設に宿泊する人に、渋川市電子地域通貨「渋Pay」のポイントを2,000ポイント配布するものです。第2弾の実施期間は、令和6年1月9日(火)～2月21日(水)です。

1 目 的

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されてから、外出への意欲が高まり、伊香保温泉では宿泊客数がコロナ禍前の状況に戻りつつあります。このような中で、自家用車を使用しない「環境に配慮した旅」を促進するとともに、物価高騰等の影響を受ける観光業者や公共交通事業者を支援するために、「公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン」を実施します。

普段は自家用車を利用する県外旅行者向けに、公共交通機関を利用して渋川市に来てもらうことで、自家用車では味わえない新たな魅力を発見してもらうとともに、環境への配慮の意識を高めてもらうことを目的とします。

2 内 容

県外から公共交通機関を利用して渋川市内の対象宿泊施設に宿泊する人に、渋川市電子地域通貨「渋Pay」の「公共交通で行くしぶかわエコ旅応援ポイント」2,000ポイント(2,000円相当)を配布します。

3 実施期間 令和6年1月9日(火)～2月21日(水)

4 対 象 者

県外から下記の公共交通機関を利用した宿泊者

- (1) 鉄道
- (2) 高速バス

※チェックイン時に、公共交通機関を利用したことを証明できるものを提示してもらいます

5 配布条件

スマートフォン等を所持し、渋Payアプリをインストールしていることをポイント配布の条件とします。

6 配布方法

- (1) 利用者は、対象宿泊施設のフロントで公共交通機関の利用証明を提示します
- (2) 宿泊施設の職員が、ポイント配布用の2次元コードを提示します
- (3) 利用者が、渋Payアプリをダウンロードしたスマートフォン等で、2次元コードを読み取ることで、ポイントが配布されます

7 その他

令和5年第2弾の実施周知のため、JR東日本の新幹線車内誌「トランヴェール」11月号に広告を掲載しました。

参考

1 令和5年度第1弾の実績

- (1) 実施期間 令和5年9月1日(金)～9月30日(土)
- (2) 対象宿泊者数 2,356人
- (3) 渋Pay付与ポイント 477万3,000pt
- (4) 渋Pay利用ポイント 451万3,136pt
(全体の94.6% 有効期限：令和5年10月14日)
- (5) PR方法
 - ① JR東日本主要170駅にポスター掲示
 - ② 徳富蘆花の縁で交流のある世田谷区、逗子市のホームページ上にバナー広告を掲載
- (6) その他 宿泊者を対象にアンケートを実施しました。

2 アンケート結果

- (1) 回答者数 1,262人 (全宿泊者数の53.6%)
- (2) アンケート方法 紙媒体及びスマートフォンによる電子アンケート
※電子アンケートでの回答者610人には、渋Pay 100ptを付与しました
- (3) 結果概要 別紙のとおり

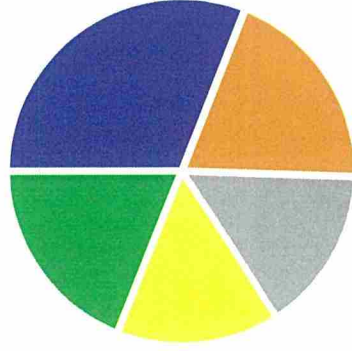
■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭 (内線4899)
担当：観光課 (電話0279-22-2873)
課長 関口 礼二 (内線4880)
観光振興係長 藤井 隆 (内線4881)

公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーンアンケート結果

有効回答数

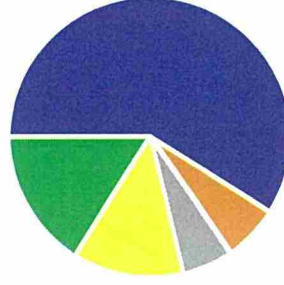
Q1 あなたの年齢は	割合
20代以下・20代	391 31.0 %
30代	247 19.6 %
40代	194 15.4 %
50代	191 15.1 %
60代以上	239 18.9 %
合 計	1,262 100 %



20代以下・20代 30代 40代 50代 60代以上

Q2 あなたの職業は

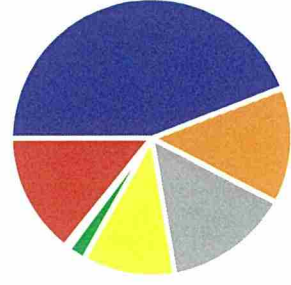
Q2 あなたの職業は	割合
会社員	746 59.1 %
自営業	80 6.3 %
公務員	74 5.9 %
学生	160 12.7 %
無職、その他	202 16.0 %
合 計	1,262 100 %



会社員 自営業 公務員 学生 無職、その他

Q3 お住まいの都道府県は

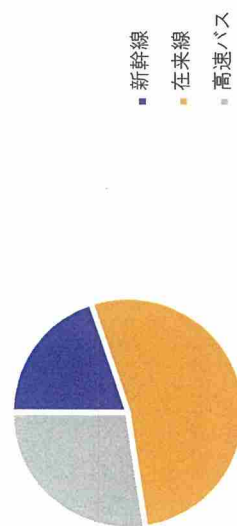
Q3 お住まいの都道府県を教えてください	割合
東京都	557 44.1 %
埼玉県	172 13.6 %
神奈川県	185 14.7 %
千葉県	134 10.6 %
茨城県	26 2.1 %
栃木県	7 0.6 %
その他	181 14.3 %
合 計	1,262 100 %



東京都 埼玉県 神奈川県 千葉県 茨城県 栃木県 その他

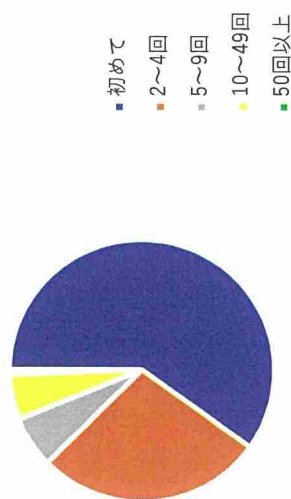
Q4 本日はどの交通機関を利用しましたか(複数回答可)		割合
新幹線	299	19.8 %
在来線	796	52.8 %
高速バス	414	27.4 %
合 計	1,509	100 %

Q4 利用の交通機関は



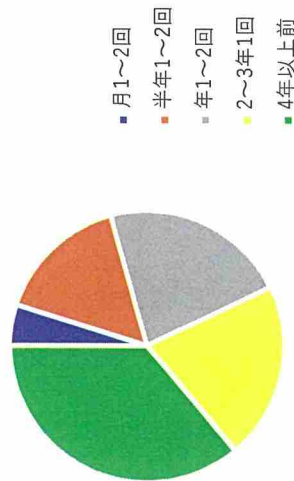
Q5 渋川市への来訪回数を教えてください		割合
初めて	755	59.8 %
2～4回	351	27.8 %
5～9回	79	6.3 %
10～49回	69	5.5 %
50回以上	8	0.6 %
合 計	1,262	100 %

Q5 渋川市への来訪回数は



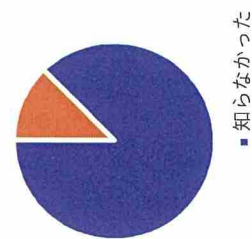
Q6 渋川市への来訪頻度を教えてください(複数来訪者回答)		割合
月1～2回	25	4.9 %
半年1～2回	80	15.8 %
年1～2回	112	22.1 %
2～3年1回	107	21.1 %
4年以上前	183	36.1 %
合 計	507	100.0 %

Q6 渋川市への来訪頻度は



Q7 キャンペーンについてご存じでしたか		割合
知っていた	159	12.6 %
知らなかった	1,103	87.4 %
合 計	1,262	100 %

Q7 キャンペーン/周知



Q8 渋川市への来訪目的は

Q8 渋川市への来訪の目的を教えてください(複数回答可)	割合
温泉	49.5 %
自然	14.4 %
観光施設	13.1 %
農産物等	1.3 %
食事	14.8 %
歴史・文化	3.8 %
その他	3.0 %
合 計	100 %



Q9 観光情報の入手方法は

Q9 旅行前の観光情報の入手方法は何か (複数回答可)	割合
観光パンフレット	9.2 %
インターネット	69.9 %
旅行雑誌	9.4 %
テレビ	2.1 %
友人・知人	7.5 %
その他	1.9 %
合 計	100 %



Abstract

The purpose of this study was to investigate the effect of a 12-week resistance training program on the muscle strength and endurance of older adults. The study was conducted in a laboratory setting and involved 20 participants aged 65 and older. The participants were divided into two groups: a control group and an experimental group. The experimental group performed a 12-week resistance training program, while the control group did not. The muscle strength and endurance were measured at the beginning and end of the 12-week period. The results showed that the experimental group had a significant increase in muscle strength and endurance compared to the control group. The increase in muscle strength was statistically significant ($p < 0.05$), while the increase in muscle endurance was not statistically significant ($p > 0.05$). The results suggest that a 12-week resistance training program can improve muscle strength and endurance in older adults.

The study was conducted in a laboratory setting and involved 20 participants aged 65 and older. The participants were divided into two groups: a control group and an experimental group. The experimental group performed a 12-week resistance training program, while the control group did not. The muscle strength and endurance were measured at the beginning and end of the 12-week period. The results showed that the experimental group had a significant increase in muscle strength and endurance compared to the control group. The increase in muscle strength was statistically significant ($p < 0.05$), while the increase in muscle endurance was not statistically significant ($p > 0.05$). The results suggest that a 12-week resistance training program can improve muscle strength and endurance in older adults.

こんにゃく芋生産農家存続のための緊急要望書を 県知事に提出します

令和5年度のこんにゃく芋の価格は大幅な下落となっており、こんにゃく生産農家へ影響が非常に大きくなっています。このままでは離農や多品目への転換を余儀なくされてしまう恐れがあり、渋川市の基幹作物であるこんにゃく芋の生産に甚大な影響が懸念されるため、渋川市は、群馬県知事へ要望書の提出を行うこととしました。

1 概 要

近年、新型コロナウイルス感染症や国際情勢の変化による肥料や資材価格の高騰、更には人件費の上昇など、こんにゃく農家には非常に苦しい状態が続いています。これに加え、今夏の記録的な猛暑の影響により、こんにゃく芋が不作となっています。

このような状況の中、渋川市内のこんにゃく農家が市の基幹作物であるこんにゃく芋の生産を維持し、安定して食卓に届けられるよう、渋川市は、群馬県知事へ要望書を提出します。

2 提 出 先 群馬県知事 山本 一太

3 要望内容

- (1) こんにゃく芋の価格崩壊における生産者への打撃緩和に向け、経営面積に応じた給付金の支給をお願いしたい。
- (2) 収入保険の普及及び加入の促進に向けた保険料補助の取り組みの実施をお願いしたい。
- (3) 持続可能な生産性の維持や向上のため、設備投資、機械導入や更新への補助をお願いしたい。
- (4) 国民や県民に対し、こんにゃくの消費拡大のPRをお願いしたい。
- (5) いわゆる水増しこんにゃく製品の対策として、食品表示における、こんにゃく及びこんにゃく粉の含有量割合を明確にするよう国への要望をお願いしたい。
- (6) 中国やミャンマーなどからのこんにゃく製品の輸入規制を国へ求めてもらいたい。

4 県内コンニャク生産状況

(1) 経営体数

- | | | |
|---|-----|-------------|
| 1 | 渋川市 | 222件（県内第1位） |
| 2 | 昭和村 | 148件 |
| 3 | 沼田市 | 94件 |
| 4 | 富岡市 | 82件 |
| 5 | 安中市 | 65件 |

(2) 栽培面積

- 1 昭和村 985 h a
- 2 渋川市 510 h a (県内第2位)
- 3 沼田市 403 h a
- 4 富岡市 187 h a
- 5 安中市 179 h a

※資料：2020年農林業センサス

5 生芋価格

- ・令和5年度 約3,000円／30kg
- ・令和4年度 約4,200円／30kg
- ・令和3年度 約4,100円／30kg
- ・令和2年度 約3,600円／30kg
- ・令和元年度 約3,600円／30kg

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭 (内線4899)

担当：農政課 (電話0279-22-2593)

課長 山本 泰浩 (内線4971)

振興係長 中野 智也 (内線4972)

こんにゃく芋生産農家存続のための緊急要望書

群馬県知事 山 本 一 太 様

令和5年12月 日
渋川市長 高 木 勉

趣 旨

こんにゃくは、群馬県が全国1位の生産を誇る基幹作物であり、重要な特産品であります。渋川市は、栽培面積が昭和村について2位であり、経営体では県内1位となっております。

しかし、昨今の新型コロナウイルスや国際情勢の変化による資材や肥料などの価格の高騰、更には人件費の上昇、それに加え夏の記録的猛暑の影響により不作となっております。このような中、令和5年度のこんにゃく芋の価格は前代未聞の大幅な下落となり、今の状況が続きますと、多くのこんにゃく農家が離農や他品目への転換を余儀なくされ、渋川市の基幹農業に甚大なる影響が懸念されます。

以上のことから、来年以降も持続可能な生産体系を維持し、農地を守りつつ美味しいこんにゃくを安定して食卓に届けられるよう、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

要望事項

- 1 こんにゃく芋の価格崩壊における生産者への打撃緩和に向け、経営面積に応じた給付金の支給をお願いしたい。
- 2 収入保険の普及及び加入の促進に向けた保険料補助の取り組みの実施をお願いしたい。
- 3 持続可能な生産性の維持や向上のため、設備投資、機械導入や更新への補助をお願いしたい。
- 4 国民や県民に対し、こんにゃくの消費拡大のPRをお願いしたい。
- 5 いわゆる水増しこんにゃく製品の対策として、食品表示における、こんにゃく及びこんにゃく粉の含有量割合を明確にするよう国への要望をお願いしたい。
- 6 中国やミャンマーなどからのこんにゃく製品の輸入規制を国へ求めてもらいたい。

大雪に備えた関係部署の情報交換及び庁議での協議を実施しました

渋川市内で過去に大雪が降った平成25年度の気象状況と、今年度の状況が類似していることから、本格的な降雪シーズン前に対応方法や体制を協議し、全庁で対応することを確認しました。

1 概 要

渋川市内では、夏季に小雨であった平成25年度に、2月に大雪が降り市民生活等が大混乱する事態が発生しました。今年度も夏季の雨量が少なく、平成25年度に類似した状況にあることから、本格的な降雪シーズン前に、関係部署による情報交換を実施したほか、庁議での協議を行い、大雪に全庁で対応することを確認しました。

2 経 過

(1) 関係部署による情報交換

令和5年12月21日に情報防災部危機管理室、建設交通部土木維持課、産業観光部観光課が集まり情報交換を行ったほか、気象についての勉強会を行いました。

(2) 庁議での協議

令和5年12月25日の庁議において、12月21日の関係部署による情報交換の報告を受け、積雪に対する対応方法や体制を協議し、全庁で対応することを確認しました。

3 主な各室課の対応

(1) 情報防災部危機管理室

地域防災計画に基づき、情報収集体制、災害警戒本部、災害対策本部の設置を行います。市民に対しては、降雪前に市のホームページで注意喚起を行います。

降雪時の対応

番号	体制	設置基準に資する情報		実施事項
1	情報収集体制	大雪注意報	12時間降雪が平地：深さ5cm、山地：深さ10cmを超えると予想される場合	情報の入手、分析、評価、判定
2	災害警戒本部	大雪警報	12時間降雪が平地：深さ20cm、山地：深さ30cmを超えると予想される場合	上記及び宿泊
			降雪量30cm以上（平地、山地）	上記及び除雪情報入手（国・県・市道）、気象情報入手、関係機関情報共有
3	災害対策本部	特別警報	積雪量40cm以上で災害の発生するおそれがある場合又は災害が発生した場合	上記及び災害対策本部会議の設営、動員、災害派遣の検討

(2) 建設交通部土木維持課

渋川市道路除雪計画に基づき、市民の安全と安心を確保するため、道路交通を維持することを目的とした除雪に関する基本事項を定めて、円滑な除雪を実施します。

また、除雪の計画路線は、市が管理する主要幹線道路を主体として、国道や県道との連絡、物資の輸送、通勤・通学などに必要な路線を行います。

(3) 産業観光部観光課

観光客の安全を確保するため、観光施設の除雪対応を行います。

除雪を行う場所は、伊香保石段周辺、伊香保町市営駐車場を中心に行い、積雪状況によっては、早朝から除雪を行います。

また、積雪状況を市のホームページで周知します。

4 今後の予定について

(1) デスクネットの掲示板に、防災計画に記載されている「降雪時の対応」を載せて、職員に改めて周知を行います。

(2) 降雪が予想される時は、市ホームページなどで注意喚起を行います。

(3) 災害警戒本部体制（大雪警戒発令）となった場合、関係する各部から1人を動員職員として参集し、対応を行います。

番号	所属	対応業務
1	総合戦略部	災害情報の市民周知
2	総務部	被害情報の情報収集
3	市民環境部	自治会対応
4	建設交通部	道路状況の情報収集
5	産業観光部	観光施設の情報収集や発信、農業被害の情報収集
6	教育部	教育施設等の情報収集

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 野中 文子（内線2180）

危機管理係長 兵藤 正和（内線2185）

渋川市公式ホームページのリニューアルに向けたアンケートの集計結果をお知らせします

渋川市公式ホームページについて、令和7年に予定しているリニューアルに当たり、利用者の意見を聴くアンケートを実施し、179件の回答をいただきました。このアンケート調査の集計結果を報告します。

今後は、このアンケート結果をリニューアルの方針に反映させ、利用しやすく、見やすいホームページへのリニューアルを目指します。

1 概 要

渋川市の公式ホームページは、情報の探しやすさと災害時対応を向上させるため、令和2年にリニューアルを行いました。現在のホームページの管理システム利用契約が、令和7年11月に満了することに伴い、さらに利用しやすく、見やすくすることを目指して、令和7年12月にリニューアルを予定しています。

リニューアルに当たり、今後の方針等の参考とするために、ホームページを利用する人の意見を聴くアンケートを実施しました。このアンケート調査の集計結果をお知らせします。

2 調査期間 令和5年9月1日(金)～30日(土)

3 調査方法 ホームページのアンケートフォームから意見を送信

4 集計結果 別紙のとおり

5 結果概要

- (1) 6割以上の方が、月に1回以上市ホームページを利用しています。
- (2) 6割以上の方が、スマートフォンで市ホームページを利用しています。
- (3) 8割以上の方が、外部検索サイト（Google、Yahoo!など）ではなく、ホームページ内の機能で情報を検索しています。
- (4) 約半数の方が、求める情報にすぐに到達できていないと回答しています。
- (5) 情報へすぐに到達できていない人のうち約半数の人が、「情報が不足している」「情報が古い」「ページの分類が分かりづらい」といったページの作り方の問題を挙げています。また、残りの半数の人が、「ページまで何回もクリックしなければならない」「検索機能で該当するページが出ない」といった機能的な問題を挙げています。
- (6) 利用者は、特定の情報に限らず、さまざまな分野の情報を市ホームページから収集しています。
- (7) リニューアルについては、目的のページまでのアクセスを短くすることが最も求められています。

6 結果から見える現状の課題

(1) 運用面

- ①ページ内容及び更新時期が適切でない
- ②利用者目線でのカテゴリ設定ができていない

(2) 機能面

- ①キーワード等の検索では、求めるページを発見できないことがある
- ②パソコンでの利用を前提としたデザインとなっており、特にスマートフォンで表示したときにトップページの画像・イラスト等の大きさや配置が悪く、各機能が探しづらい

7 結果を踏まえたリニューアルの方向性

- (1) スマートフォンでの利用者が多いことから、スマートフォンでホームページを閲覧したときに見やすく、使いやすいデザインやレイアウトの検討を行っていきます。
- (2) 約半数の利用者が、求める情報にすぐに到達できていないと回答しています。これを受けて、求める情報への経路を分かりやすくするとともに、より短いクリック数で求める情報に到達できるような機能の検討を行っていきます。

8 今後のスケジュール（予定）

- ・令和6年2月 ホームページリニューアルに向けたワーキンググループ開催
- ・令和6年4～9月 ホームページ利活用推進委員会開催
(基本方針、デザイン、仕様、契約方法等の検討)
- ・令和7年4～5月 次期ホームページの利用契約締結
- ・令和7年6～11月 新システム構築
- ・令和7年12月1日 新システム稼働開始

■問い合わせ先

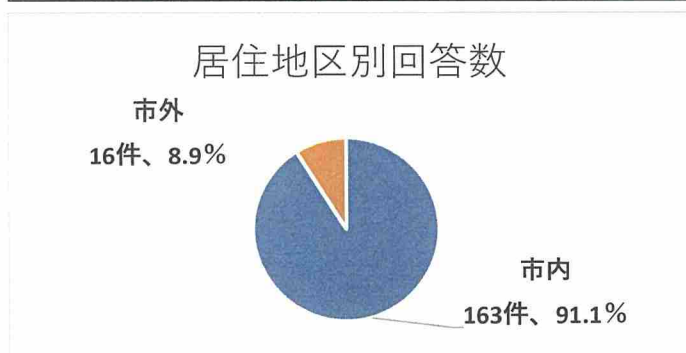
総合戦略部 部長 佐藤 多恵子（内線2410）
担当：政策戦略課（電話0279-22-2182）
課長 鴻田 吉史（内線2420）
広報係長 熊迫 徳三（内線2416）

市公式ホームページのリニューアルに向けた利用者アンケート結果

回答数	179
-----	-----

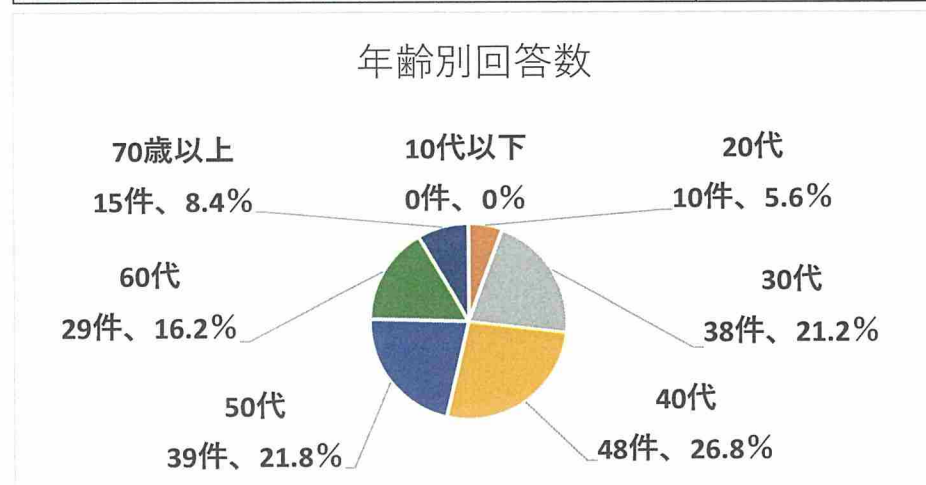
問1 居住地区別回答数

地区	回答数(件)	割合(%)
市内	163	91.1
市外	16	8.9
合計	179	100.0



問2 年齢別回答数

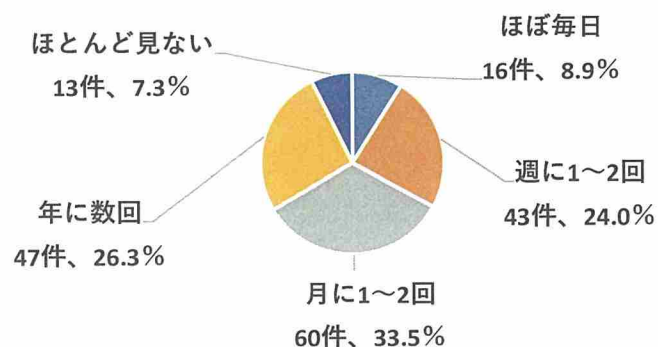
年齢	回答数(件)	割合(%)
10代以下	0	0.0
20代	10	5.6
30代	38	21.2
40代	48	26.8
50代	39	21.8
60代	29	16.2
70歳以上	15	8.4
合計	179	100.0



問3 利用頻度別回答数

利用頻度	回答数(件)	割合(%)
ほぼ毎日	16	8.9
週に1～2回	43	24.0
月に1～2回	60	33.5
年に数回	47	26.3
ほとんど見ない	13	7.3
合計	179	100.0

利用頻度別回答数

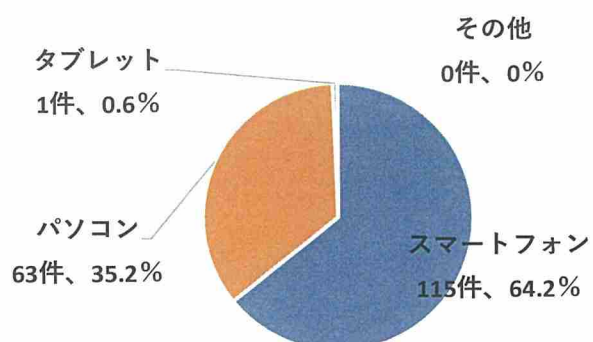


月に1回以上ホームページを見ている人が全体の6割を超えており、多くの人が日常的にホームページを利用していることから、誰でも気軽に情報収集ができるサイトにする必要があると考えられる。

問4 利用環境別回答数

利用環境	回答数(件)	割合(%)
スマートフォン	115	64.2
パソコン	63	35.2
タブレット	1	0.6
その他	0	0.0
合計	179	100.0

利用環境別回答数

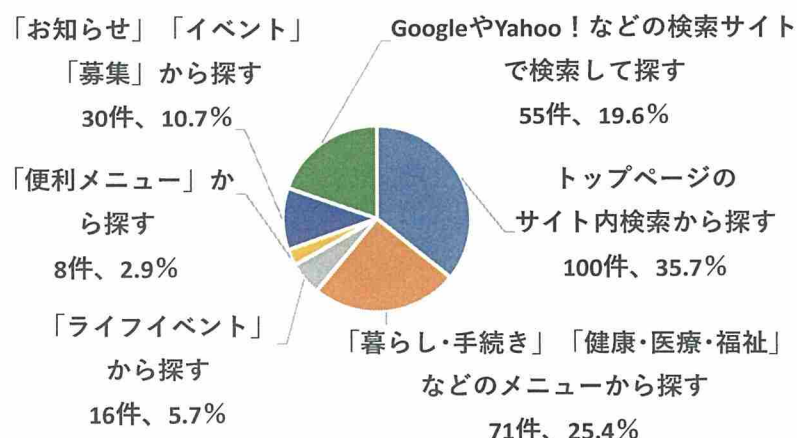


全体の6割以上の方がスマートフォンで情報収集をしていることから、サイトのレイアウト等については、パソコンをはじめ、スマートフォンでの利便性を重視したりリニューアルを検討する必要があると考えられる。

問5 情報収集方法別回答数 ※複数回答

主な収集方法	回答数(件)	割合(%)
トップページのサイト内検索から探す	100	35.7
「暮らし・手続き」「健康・医療・福祉」などのメニューから探す	71	25.4
「ライフイベント」から探す	16	5.7
「便利メニュー」から探す	8	2.9
「お知らせ」「イベント」「募集」から探す	30	10.7
GoogleやYahoo!などの検索サイトで検索して探す	55	19.6
合計	280	100.0

情報収集方法別回答数

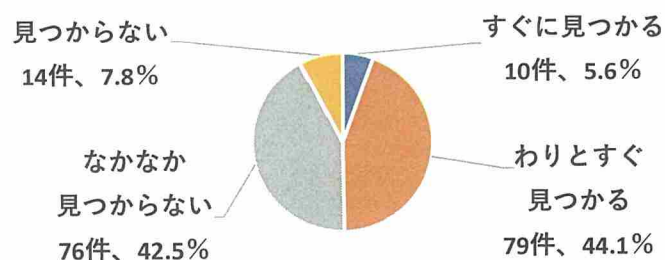


外部の検索サイトなどからのアクセスは2割近くで、残りはホームページ内の機能で情報を探していることから、ホームページ内の検索機能をより充実させていく必要があると考えられる。

問6 情報への到達速度別回答数

到達速度	回答数(件)	割合(%)
すぐに見つかる	10	5.6
わりとすぐ見つかる	79	44.1
なかなか見つからない	76	42.5
見つからない	14	7.8
合計	179	100.0

情報への到達速度別回答数

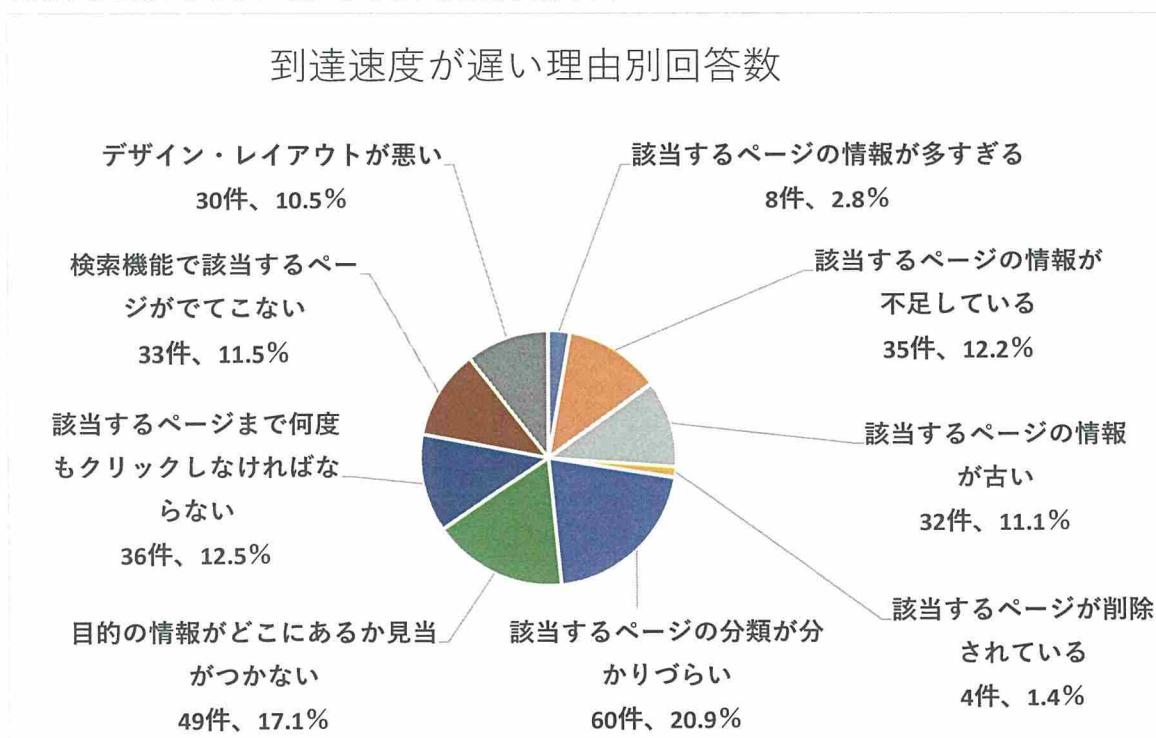


「なかなか見つからない」と「見つからない」が過半数を超えており、利用者の約半数が求める情報へすぐに到達できていないことから、それらの意見への対応を検討する必要があると考えられる。

問7 到達速度が遅い理由別回答数 ※複数回答

到達できない理由	回答数(件)	割合(%)
該当するページの情報が多すぎる	8	2.8
該当するページの情報が不足している	35	12.2
該当するページの情報が古い	32	11.1
該当するページが削除されている	4	1.4
該当するページの分類が分かりづらい	60	20.9
目的の情報がどこにあるか見当がつかない	49	17.1
該当するページまで何度もクリックしなければならない	36	12.5
検索機能で該当するページがでてこない	33	11.5
デザイン・レイアウトが悪い	30	10.5
合計	287	100.0

※なかなか見つからない・見つからないと回答した人のみ



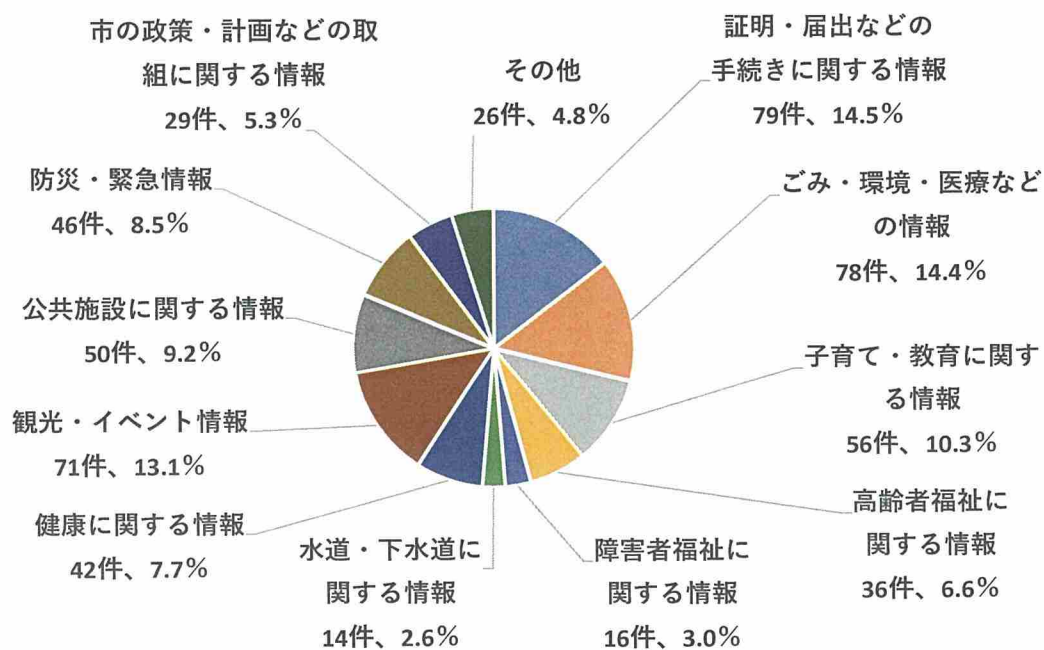
問7回答について…「該当するページの情報が多すぎる」、「該当するページの情報が不足している」、「該当するページの情報が古い」、「該当するページが削除されている」、「該当するページの分類が分かりづらい」といったページの作り方の問題が約半数を占めているため、各職員においてページ作成方法を改善する必要があると考えられる。

また、「目的の情報がどこにあるか見当がつかない」、「該当するページまで何度もクリックしなければならない」、「検索機能で該当するページがでてこない」、「デザイン・レイアウトが悪い」といった機能的な問題が残りの半数を占めているため、機能やレイアウト等の改善が必要であると考えられる。

問8 閲覧する情報の種類 ※複数回答

情報の種類	回答数(件)	割合(%)
証明・届出などの手続きに関する情報	79	14.5
ごみ・環境・医療などの情報	78	14.4
子育て・教育に関する情報	56	10.3
高齢者福祉に関する情報	36	6.6
障害者福祉に関する情報	16	3.0
水道・下水道に関する情報	14	2.6
健康に関する情報	42	7.7
観光・イベント情報	71	13.1
公共施設に関する情報	50	9.2
防災・緊急情報	46	8.5
市の政策・計画などの取組に関する情報	29	5.3
その他	26	4.8
合計	543	100.0

閲覧する情報の種類

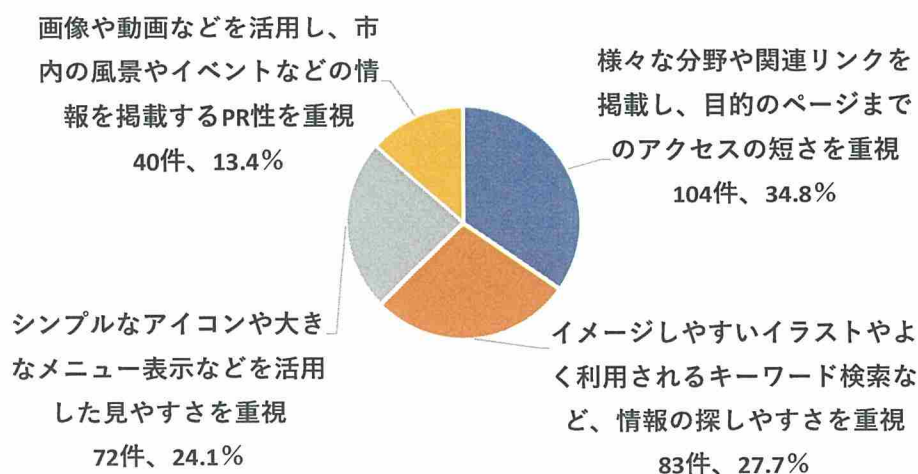


問8の回答について…情報の種類にそれほど偏りなく、利用者は様々な情報を求めて利用していることから、特定の種類に特化したものではなく、どの種類に対しても分かりやすく、到達しやすい機能・デザイン等が必要であると考えられる。

問9 リニューアル後にふさわしいレイアウト・デザイン ※複数回答

トップページのレイアウト・デザイン	回答数(件)	割合(%)
様々な分野や関連リンクを掲載し、目的のページまでのアクセスの短さを重視	104	34.8
イメージしやすいイラストやよく利用されるキーワード検索など、情報の探しやすさを重視	83	27.7
シンプルなアイコンや大きなメニュー表示などを活用した見やすさを重視	72	24.1
画像や動画などを活用し、市内の風景やイベントなどの情報を掲載するPR性を重視	40	13.4
合計	299	100.0

リニューアル後にふさわしいレイアウト・デザイン



問9の回答について…回答内容が分かれているため、各項目の内容をバランス良く取り入れつつも、情報に早くたどり着けるようなデザイン等を最も求められていることから、各分野を上手く設定し、アクセスが短くなるような機能が必要であると考えられる。

<主な意見>

デザイン面=■画面やページの構成は悪くない ■以前より見やすくなったと思う ■高齢、障害向けのページも明るく探しやすくしてほしい ■〇〇向けという項目とライフイベントの項目はまとめて一つの表示でいい ■トップの写真が大きすぎる ■検索バーが見にくい ■トップの検索バーが下すぎる ■便利機能が下すぎる ■文字が見づらい。青文字のほうが見やすい ■スマホでのトップ画面で必要な情報を一発で見つけられると良い ■ユニバーサルフォントにしてほしい ■視覚的に訴えるレイアウトで 高齢者にも分かりやすい内容が良い

機能面=■以前より目的の記事にたどり着くのが早くなったように思う ■前見たときよりページ読み込みの早さに驚いた ■欲しい情報が見つからない ■関連ページから関連ページに進む大変さは無くしてほしい ■検索機能も大事だが、カテゴリーからのアクセスのしやすさも大事 ■AIチャット機能で検索できるようにしてほしい ■カテゴリーに、必要な手続きや利用可能なサービスを一覧で確認できるまとめページがあると良い ■カテゴリー区分でどこに何があるのか分かりづらい ■キーワード検索を充実させてほしい ■カーソルを合わせると表示されるなど、カテゴリーにどんな情報が入っているか分かりやすくしてほしい ■スマホで検索ボタンをタップすると、キーワード検索と目的別検索が一緒に出るとよい ■外国人向けの情報が分散していて探しづらい ■カタカナの単語をひらがなで検索するとヒットしないので、改善してほしい ■スマホで見ると表が読みづらい ■防災無線の内容を速報として表示してほしい

ページ内容=■該当ページに到達しても結局解決しなかった ■イラストや関連リンクはわかりやすく見えるが、欲しい情報がなかった場合はすべてが無駄 ■イベント情報の多くが古い ■イベントカレンダーに情報が載ってない ■情報の更新を早くしてほしい ■全体的により情報が細かく記されていると良い ■文頭に〇年〇月〇日更新とあると、分かりやすいと思う ■情報が不足していたり、古かったり活字だけで分かりにくいページがある ■専門的なページで難しく分かりづらい言葉を減らせればもっとみやすくなると思う ■市全体の自治会の情報がほしい ■神社や仏閣などを紹介してほしい ■学校や幼稚園などの詳細や写真などを載せてほしい

全般=■PR性も大切だが、市民が一番便利に感じる情報源であってほしい ■効率よく知れる、見やすい、親しみやすいホームページにしてほしい ■いろいろな年代の人が見るので、分かりやすくしてシンプルが良い ■みんながお洒落だねって言う、大胆なリニューアルを求める ■かわいさや豪華さはいらぬ ■アクセスの軽さが大事 ■スマホ検索時はトップから悠長にいかないで、検索すると思う ■必要な情報が整理されてなく、整理されていても市民目線ではなく行政視点で分けられている ■市のホームページとしてはレベル（デザイン、UI、検索hit）が大変低い ■市外に住む渋川出身者が楽しめるコーナーを設けると良い ■大手民間企業を参考に作ってほしい

令和5年度第2回渋川市総合教育会議を開催します

市と教育委員会の相互の連携を図り、より一層の民意を反映した教育行政を推進するため、令和6年1月25日(木)に令和5年度第2回渋川市総合教育会議を開催します。

1 概 要

渋川市は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層の民意を反映した教育行政を推進するため、「渋川市総合教育会議」を設置しています。

令和5年度第2回会議の開催についてお知らせします。

2 日 時 令和6年1月25日(木) 午前10時から

3 会 場 渋川市役所本庁舎3階 大会議室

4 内 容

- (1) 部活動の地域移行に係る現状と課題について
- (2) 公立幼稚園等の現状と課題について

5 出席予定者

市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員

【市関係者】

副市長

総合戦略部長、育都推進部長、こども政策課長、こども支援課長

教育部長、教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長

6 事務局 総合戦略部政策戦略課政策創造係

7 その他

会議は原則公開で行います。

参考

1 総合教育会議とは

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第76号)」が改正(平成27年4月1日施行)されました。

この法律の中で、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化を目的とした「総合教育会議」を設けることと規定されています。

2 過去の開催状況

年 度	回 数	議 題
平成31年度 (令和元年度)	第1回 (4月)	・新年度予算について ・新年度組織機構の見直しについて ・公立幼稚園・保育所の認定こども園化について ・小規模特認校について
	第2回 (10月)	・平成30年度決算概要報告 ・ふるさと渋川学生奨励金制度(案)について ・コミュニティスクールについて
令和2年度	—	—
令和3年度	第1回 (8月)	・コミュニティスクールについて ・今後の国際理解教育のあり方について ・ヤングケアラーについて
令和4年度	第1回 (6月)	・渋川市教育振興大綱策定方針(案)について ・コミュニティ・スクールについて ・小中一貫教育について
	第2回 (11月)	・第3期渋川市教育振興大綱(案)について ・ヤングケアラーについて
	第3回 (1月)	・第3期渋川市教育振興大綱(案)について ・コミュニティ・スクールについて ・公民館の今後のあり方について
令和5年度	第1回 (7月)	・渋川市が進める特色ある教育について ・市民に開かれた美術館のあり方について

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 佐藤 多恵子(内線2410)

担当: 政策戦略課(電話0279-25-8554)

課長 鴻田 吉史(内線2420)

政策創造係長 坂本 和馬(内線2422)

令和6年渋川市消防出初式を開催します

市民の生命・身体・財産を守るために重要な役割を担っている渋川市消防団、渋川広域消防本部・消防署、渋川市女性防火クラブからなる消防隊が、消防出初式を行い、消防隊の士気高揚を図ります。

1 目 的

令和6年の年頭に当たり、消防団員、消防職員、女性防火クラブ員の士気の高揚と団結を図り、安全で安心な住みよいまちづくりに向けて邁進することを目的とします。

2 日 時 令和6年1月8日(月) 午前9時～10時20分

3 会 場 渋川市役所本庁舎 駐車場
※荒天時は、渋川市立渋川南小学校体育館で実施します

4 内 容 人員報告、消防隊観閲、市長式辞、来賓祝辞、来賓紹介、
消防団長年頭の誓い

5 出 席 者

- ・観閲者：渋川市長
- ・来 賓：県議会議員、市議会正副議長、消防長、渋川警察署長、市議会各常任委員会委員長、各地区自治会連合会長
- ・消防団員、消防本部・消防署職員、女性防火クラブ員

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）
担当：危機管理室（電話0279-22-2130）
室長 野中 文子（内線2180）
消防係長 萩原 良和（内線2183）

令和6年渋川市消防出初式 次 第

1 行 進

2 式 典

(1) 国旗掲揚

(2) 開 式 渋 川 市 長 高 木 勉

(3) 人員報告 各 部 隊 指 揮 者

(4) 消防隊観閲 渋川市長・来賓

(5) 市長式辞 渋 川 市 長 高 木 勉

(6) 来賓祝辞

群馬県知事	山本 一太	様
渋川市議会議長	安力川 信之	様
渋川広域消防本部消防長	南 安彦	様
群馬県議会議員	星名 建市	様
群馬県議会議員	金子 渡	様
渋川市自治会連合会会長	角田 雅保	様

(7) 来賓紹介

渋川警察署長	阿部 賢哉	様
渋川市議会副議長	板倉 正和	様
総務市民常任委員会委員長	田中 猛夫	様
経済建設常任委員会委員長	田邊 寛治	様
教育福祉常任委員会委員長	加藤 幸子	様
渋川地区自治会連合会会長	中澤 康光	様
伊香保地区自治会連合会会長	齋藤 忠則	様
子持地区自治会連合会会長	高橋 尚弘	様
赤城地区自治会連合会会長	田子 茂規	様
北橘地区自治会連合会会長	下田 源三	様

(8) 年頭の誓い 渋川市消防団長 島村 嘉久

(9) 国旗降納

(10) 閉 式 渋 川 市 長 高 木 勉

渋川市交通指導員年頭式を開催します

朝の街頭指導や各種行事における交通誘導などで活躍いただいている交通指導員の年頭式を開催し、交通事故のない安全で安心なまちの実現に向けて士気の高揚を図ります。

1 目 的

渋川市において、交通安全を推進する交通指導員に対し、服装等の点検を実施し、士気高揚を図るため、年頭式を開催します。

2 日 時 令和6年1月8日(月) 午前11時～正午

3 会 場 渋川市社会福祉センター（渋川ほっとプラザ）4階 大会議室

4 内 容 交通指導員の服装及び装備品の点検、講評

5 出 席 者

- ・点検官：渋川市長
- ・来 賓：県議会議員、市議会議員、渋川警察署長、渋川交通安全協会会長、各地区自治会連合会長
- ・交通指導員

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 野中 文子（内線2180）

安全安心係長 武井 香代（内線1143）